

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改革、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！



3・18～19 スト貫徹！

23春闘勝利！ 3月ダイ改阻止！ 統括センター化・「その他時間」撤回！

動労千葉は3月18～19日、23春闘勝利・3月ダイ改阻止に向けたストを闘いました。18日に開催した動労千葉総決起集会での発言の一部を紹介します。

○千葉転支部

2年前はワンマン拡大、去年は職名廃止・融合化や強制的な駅への配転もありストに入った。統括センター化では、乗務員から駅に転勤ではなく担務変更で行われる。

「その他時間」は乗務業務に関係ない委員会活動や小集団活動、消毒や駅の券売機前で案内をやらせるという話もある。

エルダーに対しては労働契約の関係でや

らないといっているが、問題はそこではない。乗務員に乗務以外の仕事を1時間、業務指示してくる。それを簡単に提案してきた。乗務の前に負担をかけるというのは、長く運転士をやってきた者とすれば、事故の元だし安全上問題であり反対だ。

○木更津支部

JR千葉支社は3月8日に、久留里線のバス転換に向けて千葉県と君津市に協議を申し入れた。JR東が赤字を理由に廃線に動き出すのは初めてだ。久留里線が全面的な廃線化攻撃の突破口にされようとしている。廃線反対の署名は5千筆を越えて集まっている。地域の運動とともに廃線反対を訴えて行動していく。

木更津統括センター設置で現場は休勤ありきの状態だ。ジョブで次々に強制配転され、病気になる休む人も出ている。ストを貫徹し、組織拡大に向けて頑張っていきたい。

○佐倉支部

佐倉運輸区では鹿島神宮での折り返し時に車内清掃が組み込まれている。粉碎するために、これからも頑張っていく。